

補助事業番号 27-2-034

補助事業名 平成27年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

平成30年には精神障害者の雇用義務化を控え、急増する精神障害者の雇用環境は大きな変革の時を迎えている。しかし一方で、雇用側の経済界にはこれ以上の対応要求への反発があるのも事実である。本団体の主要会員は精神障害者の社会適応訓練を実施してきた企業だが、これまでの経験から、精神障害者の雇用は職場の雰囲気改善する効果があることやコミュニケーションが活性化すること等が認められている。そこで、これから精神障害者雇用に取り組もうとする企業に向けて、彼らの能力を活かす組織運営を構築するための仕組みを提供し、精神障害者の雇用を推進する環境の改善につなげる事を目指す。

(2) 実施内容

1. インターネットによるメンタルヘルス支援ソフトの配布・運用

- ① 対象：働く精神障害者と雇用企業の現場・人事担当者、相談担当の専門家（臨床心理士等）
- ② 内容：雇用した精神障害者のメンタルヘルス管理（生活・作業・環境面のチェック項目をデータ化して、面談に活用）と、同じデータを共有する専門家のアドバイス（オンラインによる相談、必要に応じて直接の面談）を行う。
- ③ 配布・運用件数：19事業者 当事者41名、企業管理者26名
- ④ 期間：最長12か月間

2. 精神障害者のメンタルヘルス支援ソフトを利用した企業間の体験交流・ノウハウ研修会

- ① 対象：支援ソフト活用企業、精神障害者の雇用を検討する事業者、働く精神障害者、支援機関専門家、医療従事者等
- ② 内容：厚生労働省担当官による障害者雇用の最新政策報告、ソフト開発企業によるシステム開発、事務局による事業の概要説明、ソフト利用者アンケートの集計結果報告、相談員による活動報告、支援ソフト活用企業による事例報告、雇用企業・当事者・専門家によるパネルディスカッション
- ③ 開催場所：大阪会場 平成28年1月16日、東京会場：平成28年1月23日

3. 啓発冊子の印刷・配布

- ① 対象：支援ソフト活用企業、精神障害者の雇用を検討する事業者、働く精神障害者、支援機関専門家、医療従事者等
- ② 内容：支援ソフト活用企業の事例収集、上記研修会記録を編集
- ③ 様式：A4版 86ページ 発行部数：5,500部

2 予想される事業実施効果

精神障害者の雇用では職場定着が大きな課題である。障害者職業総合センターの調査研究によれば、ハローワークの障害者窓口経由で一般企業に紹介就職した54.7%が1年未満に離職し、3年以上定着した事例は18.7%に過ぎなかった。この様に低い就労定着率が、精神障害者の雇用に対する産業界の抵抗の一因になっている事是否定できない。平成30年の雇用義務化から平成35年までの激変緩和措置（雇用率非算定期間）の終了まで念頭に入れるならば、精神障害者の経済活動への参加を実現するためには、精神障害者の就労継続支援への枠組みを構築する事が喫緊の課題であると言える。

しかし、就労支援に関わる社会資源に限られる中で有効かつ十分な広がりを持つ支援体制を作る事は大変に困難であり、支援機関による支援のみならず、雇用企業自身も当事者の雇用管理スキルを向上させる必要があるだろう。本事業が果たすべき役割はまさしくここにあり、Webシステムを介在して当事者と雇用企業と専門家の三者連携が随時行える環境の整備および普及を目指すものである。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

啓発冊子：簡単操作のWebシステムを利用した「精神障害者の就労継続支援」最新事例報告 (<http://vfoster.org/files/publication/176.pdf>)



平成27年度公益財団法人JKA 補助事業 簡単操作のWebシステムを利用した「精神障害者の就労継続支援」最新事例報告

事業主体：特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会

目次	ごあいさつ
02	全国精神障害者就労支援事業所連合会 理事長 中野 均
03	精神障害者の継続雇用支援システム「SPIS」の紹介
04	事務局報告 本事業の実施概要とSPISの紹介、利用者アンケート 全国精神障害者就労支援事業所連合会 事務局 二庭 幸司 (精神科医)
20	ネット・NPO 精神障害者の継続雇用支援システム「SPIS」の紹介 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社
29	当事者発表 働く私リカバリーとSPISを利用して 株式会社ユーピー 三好 久輝
33	SPIS導入で見えてきた精神障害者の雇用管理のヒント 当事者との関わり方など具体的な話
38	活動報告 精神障害者就労継続支援の役割とは何か 山形県福祉センター 宇野 真一 (福祉士)
47	経験員として支援に関わりSPISを通じて感じた事 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社 株式会社
	パネルディスカッション (1/16 大塚 隆一 1/23 東京 隆)
	司会：全国精神障害者就労支援事業所連合会 事務局 二庭 幸司 コーディネーター：全国精神障害者就労支援事業所連合会 事務局 二庭 幸司 モデレーター：全国精神障害者就労支援事業所連合会 事務局 二庭 幸司
49	中野 均 (理事長/東京)
52	二庭 幸司 (事務局/東京)
53	三好 久輝 (株式会社/東京)
55	宇野 真一 (福祉士/山形)
56	株式会社ユーピー 三好 久輝 (東京)
60	株式会社 三好 久輝 (東京)
63	株式会社 三好 久輝 (東京)
64	株式会社 三好 久輝 (東京)
65	株式会社 三好 久輝 (東京)
66	株式会社 三好 久輝 (東京)
67	株式会社 三好 久輝 (東京)
68	株式会社 三好 久輝 (東京)
69	株式会社 三好 久輝 (東京)
70	精神障害者の就労支援施設について 東京大学 大学院 工学系 情報学専攻 准教授 佐藤 隆夫 鈴木 貴士
75	SPIS 連絡先

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会
(ゼンコクセイシンショウガイシャシュウロウシエンジギョウショレンゴウカイ)

住 所： 〒532-0011

大阪市淀川区西中島5-3-4 新大阪高光ビル801

JSN地域・企業連携事業部 気付

代 表 者： 理事長 中川 均 (ナカガワ ヒトシ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 三原 卓司 (ミハラ タクジ)

電 話 番 号： 06-6307-1616

F A X： 06-6307-1313

E - m a i l： info@vfoster.org

U R L： <http://vfoster.org>